

# ねりまの文化財

## 東京文化財ウィーク2017

11月1日から11月7日までの一週間は「文化財保護強調週間」です。この期間中は、全国で文化財保護と活用の推進を図るため、各種事業が行われます。

東京都では、より多くの皆様に文化財を身近に感じていただくために、強調週間の前後を「東京文化財ウィーク」として都内にある文化財の公開事業と企画事業を実施します。文化財の公開については、通年公開と、ウィーク期間中の特別公開とがあります。

区では、企画事業として遺跡の解説会を行います。

ガイド冊子「東京文化財ウィーク」特別公開・企画事業編と通年公開編は9月下旬に伝統文化係(区役所本庁舎8階)・石神井公園ふるさと文化館等で配布する予定です。

### 企画事業 尾崎遺跡の展示解説会

尾崎遺跡は、石神井川左岸の低地部から台地部に広がる遺跡です。春日小学校の建設に先立ち、昭和54年(一九七九)から55年に発掘調査が行われ、旧石器時代から近世までの各時代の遺跡が発見されました。遺跡は都指定史跡、出土品は区指定文化財となっています。尾崎遺跡の出土品について、学芸員が解説します。

【解説会日時】11月5日(日)

午前10時・午後2時(全2回)

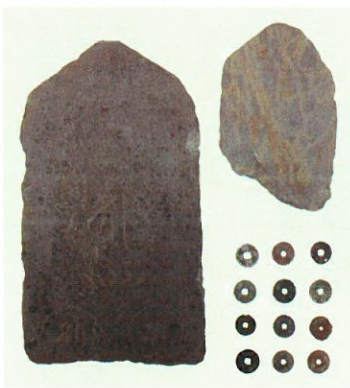
※各回60分程度

【場所】春日小学校 1階 資料展示室

(春日町5-12)

【交通】練馬春日町駅 下車 徒歩8分

【問い合わせ】伝統文化係



板碑・銭(中世・近世)



縄文土器(縄文時代早期)

スタンプ形石器(縄文時代早期)

※すりつぶす道具

練馬区  
地域文化部  
文化・生涯学習課  
(伝統文化係)  
〒176-8501  
練馬区豊玉北6-12-1  
TEL 03(5984)2442

### 公開しています!

国指定・登録、都指定の文化財

●練馬白山神社の大ケヤキ  
(国指定天然記念物)

【所在】練馬4-2 白山神社境内

【交通】豊島園駅 下車 徒歩5分

●石神井城跡(都指定史跡)

●三宝寺池沼沢植物群落  
(国指定天然記念物)

【所在】石神井台1-27ほか  
都立石神井公園内

【交通】石神井公園駅 下車 徒歩15分

●牧野記念庭園(牧野富太郎宅跡)  
(国登録記念物)

【所在】東大泉6-34

【交通】大泉学園駅 下車 徒歩5分

【開園時間】午前9時~午後5時  
※火曜日休園

●小野蘭山墓及び墓誌  
(都指定有形文化財)

【所在】練馬4-27 迎接院墓地内

【交通】豊島園駅 下車 徒歩5分

●池永道雲墓(都指定旧跡)

【所在】練馬4-27 受用院墓地内

【交通】豊島園駅 下車 徒歩5分

●東高野山奥之院(都指定史跡)

【所在】高野台3-10 長命寺境内

【交通】練馬高野台駅 下車 徒歩5分

●丸山東遺跡方形周溝墓出土品  
(都指定有形文化財)

【所在】石神井公園ふるさと文化館

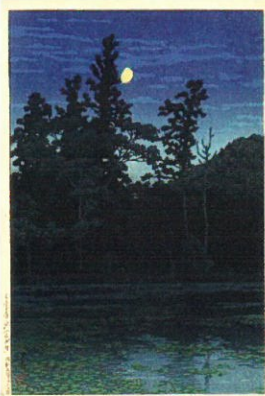
(住所等は2ページ参照)



東京文化財ウィーク2017 企画事業  
石神井公園ふるさと文化館・分室

●特別展「描かれた練馬ー変わる風景・変わらない風景」

江戸時代、三宝寺池や長命寺などが「江戸名所図会」に描かれ、練馬区域は江戸近郊の名所のひとつとして知られるようになりました。大正期に鉄道が開通すると、豊島園や三宝寺池周辺などの観光開発が進み、武蔵野の風景を求めて人々が訪れるようになります。本展では、練馬の風景が描かれた版画、水彩画、油彩画を中心に、江戸時代から近現代にかけて移り変わる練馬の様子を紹介します。また、雑木林などみどりの残る武蔵野の風景を紹介します。



川瀬巴水「三宝寺池(石神井)」昭和5年  
大田区立郷土博物館蔵

【期間】9月16日(土)～11月5日(日)  
【場所】石神井公園ふるさと文化館  
【特別展観覧料】一般300円、高校生・大学生200円、65歳以上75歳未満・障害者手帳をお持ちの方150円、中学生以下と75歳以上無料

●特別展関連講演会「浮世絵ルネサンス」新版画

渡邊木版美術画舗の初代渡邊庄三郎氏が手がけた作品にふれながら、その他多くの新版画を画像でご覧いただき、明治末から昭和までの新版画の歴史について伺います。

【日時】10月21日(土)午後2時～4時  
【場所】石神井公園ふるさと文化館  
【講師】渡邊章一郎氏(株式会社渡邊木版美術画舗 代表取締役)  
【定員】100名(申込の詳細はねりま区報9月11日号をご覧ください)

●分室特別展「デビュー30周年記念 いとうひろし展ーみつげよう、わくわくのタネ」

練馬区ゆかりの絵本作家・いとうひろし(一九五七年～)のデビュー30周年を記念し、代表作の原画約50点のほか、書籍や自作オブジェを紹介します。

『おさるの  
おいかけっこ』  
(講談社 2007年)  
表紙

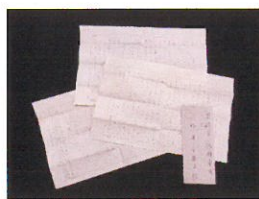


『ルラルさんのにわ』  
(ポプラ社 2001年)  
部分

【期間】7月16日(日)～10月15日(日)  
【場所】石神井公園ふるさと文化館分室  
【展覧会観覧料】無料

●分室企画展「作家の手紙」

練馬区ゆかりの作家たちにより書かれた手紙や宛てられた手紙を収蔵品から紹介します。



五味康祐書簡  
(野澤千鶴子あて)  
1948年

【期間】10月21日(土)～翌年2月3日(土)  
【場所】石神井公園ふるさと文化館分室  
【展覧会観覧料】無料

●石神井城跡発掘パネル展

石神井城跡(中世豊島氏の城跡)の発掘調査の様子や成果などを特別公開中の主郭内にて写真・パネルで紹介いたします。  
【期間】10月28日(土)～11月5日(日) 午前9時30分～午後4時30分  
【場所】都立石神井公園内石神井城跡(石神井台1丁目)

●特別公開「小野蘭山墓誌」

江戸時代中期の本草学者(博物学者)である小野蘭山(一七二九～一八一〇)の墓誌(都指定有形文化財)を特別公開します。

【期間】10月19日(木)～11月7日(火)  
【場所】石神井公園ふるさと文化館  
常設展示室(入館料無料)

●展示会「古民家今昔ものがたり」  
(東京9区文化財古民家めぐり  
実行委員会・(公財)特別区協議  
会との共催事業)

練馬区を含め、都内9区の古民家で行っている年中行事の再現や、昔の暮らし体験など、古民家を活かしながら保存していく実例を、紹介します。

【期間】10月4日(水)～11月11日(土)  
平日午前9時～午後8時30分  
土曜午前9時～午後5時(日曜・祝日休館)  
【場所】東京区政会館(千代田区飯田橋3-5-1) 1階エントランスホール  
【展覧会観覧料】無料

【申込・問合せ】  
石神井公園ふるさと文化館  
住所 練馬区石神井町5-12-16  
電話03(3999)4060  
石神井公園ふるさと文化館分室  
住所 練馬区石神井台1-33-44  
電話03(5372)2572  
休館日…月曜日(月曜日が祝休日の場合はその翌平日)・年末年始  
開館時間…午前9時～午後6時  
詳細はふるさと文化館ホームページ  
(<http://www.neribun.or.jp/furusato.html>)をご覧ください。



練馬区指定文化財 古文書紹介

# 井口家文書 「関のぼろ市」に関わる文書

関村の開発に関わった井口家一族には、地域の歴史を伝える文書が残されています。今回は、この中から関のぼろ市に関わる文書を紹介いたします。

関のぼろ市は、本立寺(関町北4-16)

の「お会式」のときに、門前に立ち、宝暦年間(一七五一〜六四)に始まったと伝えられます。以前は、「ぼろ」といわれた古着の他、鍬(くわ)・鎌などの農具、箆(ざる)・籠(かご)・桶・臼など生活用具が市で商われました。

文書1は、明治36年(一九〇三)のぼろ市興行のための届出で、本立寺惣代から板橋警察署に宛て出されました。興行日の記載があり、12月9日・10日に開かれていることがわかります。

文書2は、明治18年(一八八五)のぼろ市に関するものです。この年はぼろ市に併せて相撲興行が行われました。本立寺の檀家の一人が板橋警察署に相撲興行の取締のため、巡査を派遣するようお願いしました。12月9日から15日まで相撲興行を願っています。別の文書から、実際は12月9日から11日まで興行されたことがわかっています。

関のぼろ市は、紹介した文書の頃と変わらず現在でも12月9日・10日に行われ、多くの人でにぎわっています。

## ■文書2

【大意】

巡査の御出張願

(中略)

右(本立寺)において12月9日から15日まで相撲(角力)興行することについて警視本庁へ願出て許可済みになった件については、右の日限のうち9日から11日の午前9時から午後6時まで相撲興行場の取締のため巡査2名にご出張くださいますよう、お願い申し上げます。

ただし、お勤めいただく労銀1円50銭は前もってお渡しし、雨天の場合は順延でお願いします。

(後略)

【解説】

巡査方御出張願

北豊島郡関村

六百三十四番地

本立寺境内

明き地

右者本月九日より同十五日迄角力興行之義、警視御本庁へ願済相成候二付テハ、右日限中九日より十一日迄毎日午前九時より午後六時迄、同場為取締巡査方御両名御出張被成下度、此段奉願候也

但、保勞金壹円五拾銭前納、雨天順延相願候也

明治十八年十二月四日

右願人

井ノ口鎌三郎

板橋警察署 御中

文書1

文書2



# 練馬区独立70周年記念協賛事業 ねりま郷土芸能フェスティバル

練馬区の独立70周年を祝い、練馬区内で活動している囃子連の中から10団体が一堂に会し「ねりま郷土芸能フェスティバル」が開催されます。

会場では、それぞれの囃子連が各地域で受け継がれてきた囃子や、付随芸能を披露するほか、仲若囃子連による里神楽も演じられます。  
是非ご来場ください。



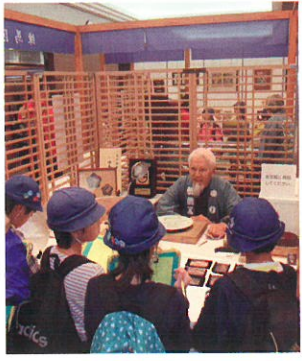
練馬区独立70周年

- ◆日時 平成29年10月29日(日)  
午前11時～午後4時  
(午前10時30分開場)
- ◆会場 練馬文化センター 小ホール  
(練馬区練馬1-17-37)
- ◆出演団体と活動地域  
石神井町囃子連(石神井町)  
中村囃子連(中村)  
関町囃子保存会(関町)  
中里囃子連(大泉町)  
石神井台囃子連(石神井台)  
南田中囃子保存会(南田中)  
富士見台囃子保存会(富士見台)  
白山神社囃子連(練馬)  
北町囃子保存会(北町)  
仲若囃子連(氷川台)
- ◆入場 無料(当日会場にて受付)
- ◆主催 練馬区民俗芸能協議会
- ◆協賛 練馬区独立70周年記念事業  
区民実行委員会
- ◆後援 練馬区
- ◆お問い合わせ 伝統文化係

## 第29回練馬区伝統工芸展

区内で継承されている匠の技の数々が、今年も練馬駅隣接のココネリに集結します。上記、郷土芸能フェスティバルと同時に開催、会場も目と鼻の先です。ぜひお立ち寄りください。

- ◆日時 10月27日(金)～29日(日)  
午前10時～午後6時  
※最終日は午後5時まで
- ◆会場 練馬区立区民・産業プラザ  
Coconeri(ココネリ) 3階  
(練馬区練馬1-17-1)
- ◆出展種目 江戸刺繍／江戸木彫刻／江戸筆／江戸表具／尺八／手織／東京額縁／東京彫金／東京染小紋／東京手描友禅／組紐／螺鈿蒔絵／和裁／陶芸展示・実演・販売・体験ほか
- ◆主催 練馬区伝統工芸会
- ◆後援 練馬区・練馬区教育委員会・練馬区産業振興公社



昨年の会場の様子

## 文化財保護審議会 委員委嘱(第16期)

練馬区では、区内文化財の保護・保存および活用を図るため、練馬区文化財保護条例に基づき、学識経験者で構成する練馬区文化財保護審議会を設置しています。

主な役割は、①教育委員会の諮問に応じる ②文化財の保存等について重要事項を調査し、審議する ③重要事項について教育委員会に提言するの三点です。この度、平成29年4月1日付けで、左記6名の方に、練馬区文化財保護審議会委員を委嘱しました。任期は2年です。

### ◆委員一覧(敬称略・五十音順)◆

- 伊郷 吉信 文化学園大学造形学部・日本大学生産工学部講師 (建築)
- 漆澤その子 武蔵大学人文学部教授 (日本芸能史・文化史)
- 佐藤 孝之 東京大学史料編纂所教授 (日本近世史)
- 副島 弘道 大正大学文学部教授 (日本彫刻史・文化財学)
- 松崎 憲三 成城大学文学部教授 (日本民俗学・民具学)
- 森 公章 東洋大学文学部教授 (日本古代史)